



新潟市防災
マスコットキャラクター
「キョージョ」

防災士が教える

同キャラクター
「ジージョ」



今からできる備えのポイント

避難行動を 確認しておこう



災害時に慌てず行動できるよう、あらかじめ警戒レベルとそれに対応した行動を確認しておきましょう。また、家族で話し合い、避難場所などの情報を共有しておきましょう。



市防災士の会
会長 平井 孝志さん

住んでいる地域の災害リスクを知っておくと、避難行動を想像しやすいです。市総合ハザードマップで、自分の地域の災害リスクを確認しておいてください。

警戒レベルと取るべき行動

警戒レベル5 緊急安全確保	命の危険。直ちに安全確保
<警戒レベル4までに必ず避難！>	
警戒レベル4 避難指示	危険な場所から全員避難
警戒レベル3 高齢者等避難	危険な場所から 高齢者などは避難
警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	ハザードマップなどで 避難行動を確認
警戒レベル1 早期注意情報(気象庁)	最新情報に注意

※地震・津波の場合、警戒レベル情報は出されません

食料や非常持ち出し品をまとめておこう

非常持ち出し品の例

リュックに入れておくなど、すぐ持ち出せるようにしておきましょう。

- ゴミ袋
- 衣類、おむつ
- 懐中電灯、携帯ラジオ、電池
- 水、食料、薬、お薬手帳、生活用品
- 携帯電話、モバイルバッテリー
- 身分証明書、お金、通帳、印鑑 など



家庭用備蓄品の例

在宅避難などに備えましょう。ローリングストック*も有効です。
※普段から少し多めに食材などを買い、使った分だけ新しく買い足していくこと

- 3日分(可能であれば7日分)の水や食料、生活用品
- 卓上コンロ・ガスボンベ、携帯トイレ
- そのほか、生活習慣や健康状態などに合わせて必要となるもの



お薬手帳があれば、避難中に薬がなくなったときや服用中の薬が分からないときでも、スムーズに医師が薬を確認できますよ。



参加者の声

地域の防災訓練に参加してみませんか



小林 恵子さん
(北区在住)

「もしものとき」のリハーサルが大事

地域の防災会の訓練に初めて参加しました。車いすで避難する人のお手伝いや段ボールベッドの組み立てを体験しましたが、これらは一度やってみないと本番では難しいと感じました。訓練を経験することで、いざというときに行動できる自信がつくと思います。自分自身はもちろん、周りの人を守るためにも、訓練に参加してみることをお勧めします。

家族で参加し、子どもも防災意識を

子どもが保育園の頃から、町内やコミュニティ協議会の防災訓練に参加しています。子どもと繰り返し訓練を体験し、訓練の後も家族で「こういうときはどうする?」という話し合いをすることで、自然と防災意識が身についていると思います。ぜひ皆さんにも親子で防災訓練に参加してほしいです。



(写真左から)
武田 晴太郎さん、新吾さん、楓太さん